

日本現代中国学会関東部会 2018 年度春季修士論文報告会

恒例の日本現代中国学会関東部会春季修士論文報告会を下記の要領で開催いたします。
今回は報告者多数につき、分科会形式で実施します。
万障お繰り合わせのうえ、ご参集下さいますよう、お願い申し上げます。

日時：2018 年5 月12 日（土）13:00－17:10

場所：東京大学駒場キャンパス2 号館3 階

308室（歴史・文化分科会）、303室（法律・政治分科会）

※地図：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_01_j.html

< 修士論文報告会 >

303室（法律・政治分科会）

開会のことば 13：00－13：05 関東部会代表 中村元哉（津田塾大学）

第一報告 13：10－13：55 司会：石塚 迅（山梨大学）
報告者：渠 遙（東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻）
「中国の訴訟時効法制の立法及び学説の経緯」
推薦者：高見澤 磨（東京大学）

第二報告 13：55－14：40 司会：高見澤 磨（東京大学）
報告者：萩原 隆太（一橋大学大学院法学研究科法学・国際関係専攻）
「香港における『法治』の変容－立法会宣誓事件を事例に－」
推薦者：倉田 徹（立教大学）

◇ ◇ 休憩（14：40－14：50） ◇ ◇

第三報告 14：50－15：35 司会：小嶋 華津子（慶應義塾大学）
報告者：高橋知子（東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻）
「中国と多国間環境レジーム－国際機構とレジームに関する理論の再考－」
推薦者：川島 真（東京大学）

第四報告 15：35－16：20 司会：小嶋 華津子（慶應義塾大学）
報告者：苑 意（東京大学大学院法学政治学研究科修士課程一年）※卒論の特別推薦
「日中海洋権益論争」
推薦者：川島 真（東京大学）

◇ ◇ 休憩（16：20－16：25） ◇ ◇

第五報告 16：25－17：10 司会：家永 真幸（東京女子大学）
報告者：斉 崇硯（東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻）
「日本帝国下における日本と台湾の治安法律の比較研究：
台湾人の法的地位の変化を中心として」
推薦者：川島 真（東京大学）

308室（歴史・文化分科会）

第一報告 13:30-14:20 司会：中村 みどり（早稲田大学）

報告者：徐 懿（一橋大学大学院社会学研究科地球社会研究専攻）

「現代中国におけるロック音楽:『抵抗』という価値の変遷」

推薦者：中村 元哉（津田塾大学）

第二報告 14:20-15:10 司会：深町 英夫（中央大学）

報告者：彭 高明（筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史・人類学専攻）

「1930年代南京国民政府の合作社運動に関する研究 -江蘇省を中心として-」

推薦者：山本 真（筑波大学）

◇ ◇ 休憩（15:10-15:30） ◇ ◇

第三報告 15:30-16:20 司会：深町 英夫（中央大学）

報告者：孫 嘉睿（一橋大学社会学研究科総合社会科学専攻）

「近代中国東北における『蒙古旗の満洲人』の民族アイデンティティ
-吉林省扶余県『老何家』を事例にして-」

推薦者：中村 元哉（津田塾大学）

第四報告 16:20-17:10 司会：倉田 徹（立教大学）

報告者：張 宇博（早稲田大学大学院文学研究科中国語中国文学コース）

「王家衛の映画に見る香港アイデンティティ
-『欲望の翼』、『花様年華』、『2046』-」

推薦者：千野 拓政（早稲田大学）

★報告会終了後、関東部会理事会を開催いたします。

◎連絡先：関東部会事務局 趙宏偉・中村元哉・佐藤普美子・倉田徹・阿古智子・大西広